



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2015～2016年度 RI会長 K. R. ラビンドラン
RIテーマ 世界へのプレゼントになろう

クラブテーマ「明るく楽しいロータリー」会長 鈴木政則

副会長 中山和雄 幹事 石井邦夫

第1276回 例会 2016.5. 20(金)晴

司会:山口辰哉君 指揮:勝又佳員君
ロータリーソング「日も風も星も」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 ブケ東海三島
TEL.055-984-0120
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 鈴木政則君

八方美人という言葉が良く使われます。この八方美人という言葉が国語辞典で調べてみると、誰に対してもほど良く振る舞う人とか、どの方向のことにほほどよく対応する人とか、人づき合いにソツのない人をさして使われているとありますが、世間では、



どの場面でもどの人に対しても、自分の良い所を見せて調子良く対応すると、むしろ良くない意味で表わすことが多く、パーティーの席などで蜜を求めめる蝶のように、ヒラリヒラリと舞い踊る人のイメージが浮かびます。これは半分やっかみも含まれる見方かもしれませんが、あなたにこの八方美人をやりなさいと言われたとしたらはどうでしょうか。まず人の顔をしっかりと覚え、その時々話題に対して俊敏に対応できなくてははいけません。明るい雰囲気の中では笑顔をやさしく、困った様子の人に対しても同調し、その場の空気を読み、時には話題の中に入って行くことも必要です。これでは、気の利かない、まめではない私などはとてもできそうにありません。八方美人を信用という面から考えてみた場合、たとえば古くなりますが、最近あまり見かけなくなりました商店のご用聞きの仕事など、まさしく信用されなければなりません。頭を低くして訪問先をまわり、気に入られる、そんなご用聞きが存在が信用される事で、店の繁栄に繋がって行きました。これと同じ事は、美容院等の接客業にもいえます。多数の定期的に訪れる常連客に、適切な話題作りをしながら、喜んでもらえる様な対応をしなければなりません。しかしご用聞きにしても接客業にしても、大事な事は、それぞれのお客様のプライバシーは一切他に漏らさない様に気をつけなければならないという事です。人は何度も同じ人と会って言葉を交している、ついつい心を許し、本音を云ってしまう事があるものです。これを他人にしゃべってしまったら大変な事になってしまいます。すべての人に気に入ってもらいたいと思うあまり、何でもかんでもしゃべってしまう、これを八方美人と云っているかどうか分かりませんが、これでは信用がなくなってしま

いますよね。すべての人に良く思われたいと思うのは、自分が一番かわいいのであり、自己中心的だと私は思います。まずは、できるできないは別として、相手のことを良く考え、思いやりをもって行動できる自分でありたいと思います。

出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	26/33	78.79%	30/33	90.91%
今回	24/35	68.57%	会員総数	36名

欠席者 あなたが見えなくて残念でした。

石井(和)君、石井(司)君、内田君、遠藤君、太田君、岡君、田中君、仲原君、原君、兵藤君、山口(雅)君

おめでとう

入会記念日 5月31日 山口辰哉君

今日の料理



幹事報告

幹事 石井邦夫君

1. 次週例会は米山梅吉記念館で行います。

杉山 隆君

5月20日に会員増強に伴うメンバーの意見交換を行いました。

- ・会が認める候補を食事に誘う。
(10,000円以内で会から出す)
- ・チームで(3人で1名)入れる。
- ・銀行から紹介(事業を初め5年くらい)
- ・家族の理解が求められない。
- ・お金がからむ事なので。
- ・入会させた事のある人に聞く。
- ・オープン例会、ゲスト例会を開催。
- ・会に出席していただいた後にフォローアップをする事が大事では？
- ・経営者としての体験談を聞かせる。
- ・心苦しい人を誘う。

貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。
今後とも、会員増強運動のご協力の方、宜しく願います。

PHOTO GALLERY



スマイルボックス

篠木 喜世君:年度はじめ、昼例会になかなか出られず申し訳ありません。スマイルします。

杉山順一君:さあ、皆様スマイルをしましょう!

ROTARY NEWS

ローマ法王による特別ミサにロータリー会員が出席

4月30日、フランシスコ・ローマ法王による特別ミサがバチカンで行われ、80カ国から約9,000人のロータリー会員が出席しました。サンピエトロ大聖堂前の広場にロータリアンのための特別席が用意された今回の特別ミサで、ローマ法王は、慈悲の心、一体感、人類への奉仕を呼びかけました。

詰めかけた総勢10万人以上の出席者の中には、世界各国の警察や軍の関係者も含まれていました。これは、「世界の平和、安全、連帯感の文化を築く」ことが目的です。

アルゼンチン出身のフランシスコ・ローマ法王は、ローマカトリック教会の頂点に君臨する存在でありながら、その言葉は宗教の枠を超え、多くの人びとの心に届いています。今年発表された世論調査の結果では、フランシスコ・ローマ法王は世界で最も好感を持たれ、信頼されているリーダーであることが分かっています。

法王による「平和」のメッセージは、ロータリー会員の心にも響いています。インド・タミルナドゥ州のR. アショカンさんは次のように話します。「法王の平和のメッセージは『受容』を説いています。すべての人びとを受け入れるロータリーは、クラブや地域社会にこの平和のメッセージを届けることができるでしょう」

法王とロータリーはいずれも、国境や文化を越えた存在であるため、今回のミサは、「本当に特別なもの」だと話すのは、米国カリフォルニア州からやってきたアドリアナ・ランティングさん(ロングビーチ・ロータリークラブ)です。「こんな特別な機会を逃すことはできませんでした」特別ミサの後、K. R. ラビンドランRI会長が率いる少人数のロータリー会員がローマ法王と謁見しました。法王はそこで、ポリオ撲滅活動の重要性を強調し、ロータリーがこの病との闘いを継続するよう奨励しました。ヒンズー教徒であるラビンドラン会長は、法王との謁見について、次のように振り返ります。「フランシスコ・ローマ法王より、ロータリーがポリオ撲滅の闘いを継続するようにとのお言葉をいただきました。ロータリーによるこれまでの活動に誇りを感じただけでなく、現在の活動への信念を新たにし、未来への希望を大きくすることができました」